



六郷中だより

六郷中学校だより 第2号

<六中HP>

令和 5年5月12日



発行・文責：校長 渡邊 賢

4月は始業式・入学式に始まり、春の選手権、修学旅行、県内めぐりと1年(12ヶ月)の中で最も行事が盛り沢山の1ヶ月でした。あっという間に駆け抜けた、それでいて長かった4月…と感じていたのは私だけではないのでは、と感じます。

各学年、中学校生活が新たにスタートしましたが、ご家庭の皆様が日々、子供達への応援をして頂いていることに感謝いたします。

目標達成できた修学旅行・県内めぐり

4月25日より、2年生は1泊2日の県内めぐり、3年生は2泊3日の修学旅行に出かけました。あいにく25・26日と雨がちらつきましたが、雨の県内めぐり、雨の奈良公園・京都市内観光と、雨も楽しみながら生徒たちは見学をしました。

2年生は、自主的な行動をとることやマナーを学ぶことを目標として



しっかり全員が食べきったようです。

3年生は、互いに声を掛け合い、互いをフォローする中で、時間を守った行動ができました。また積極的に海外からの観光客に声をかけ、コミュニケーションをとろうと努力していました。旅館では、ご

県内めぐりを行いました。時間を守り、班ごとに連携しました。また、夕ご飯も

飯のおかわりを5～7杯する元気な姿もあり、旅館の女将からも心から喜びの声を頂きました。

たくさん見て聞いて経験し、大いに学びのあった県内めぐり、修学旅行でした。

コロナ禍をこえて

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日付けで、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の5類感染症に移行し、これまで3年あまりに及んだ感染症への対応に一つの節目を迎えました。これまで感染拡大の防止と学校教育活動の継続の両立にあたたかいご理解とご支援を頂きましたことに感謝申し上げます。

さて、5月8日(月)には、3学年すべてにおいて授業参観・学年PTAを実施し、PTA総会も行いました。総会で、「コロナ禍で制約されていたものを、少しずつこれまでどおりに戻していきたい」と笠井・前PTA会長から話があったように、学校としてもその都度、地域や学校の感染拡大の様子を鑑みつつ、これからの活動を吟味していきたいと考えています。今後とも、六郷中学校教育活動へのご理解、ご協力をお願いします。

ユニバーサルな制服の導入

令和4年度「学校だより9号」から、お伝えしてきた「ジェンダーの平等」より、さらなる性別にとられない教育活動を目ざしていくために、多様な選択が可能となる「ユニバーサルな制服」(プレザータイプの制服)の導入が、一つの方向性としてお示しました。

5月8日、PTA総会で保護者の皆様にお伝えしたように、令和5年度中に新制服の方向性を決定し、令和7年度入学生から新しい制服の導入を予定しています。昨今、男女関係なくプレザーにスラックス姿の学生を見かけます。気温や自分の体調に合わせて制服をコーディネートすることができるようになれば、より快適な生活が送れると思います。